

様式2 再生資源利用促進計画書(実施書) - 建設副産物搬出工事用 -

1. 工事概要 表面(様式1)に必ずご記入下さい

建築工事において、解体と新築工事を一体的に施工する場合は、解体分と新築分の数量を区分し、それぞれ別に様式を作成して下さい。

裏面

2. 建設副産物搬出計画(実施) 現場内利用の欄には、発生量のうち、現場内で利用したものについて御記入ください。

コード*14(コード*13で7.内陸処分場、を選択した場合のみ記入)

1.山砂利等採取跡地 2.処分場の埋土 3.池沼等の水面埋立 4.谷地理立 5.農地等入 6.その他

建設副産物の種類	発生量 (掘削等) = + +	現場内利用・減量				現場外搬出について										再生資源利用促進率 (%)
		現場内利用		減量化		搬出先名称			搬出先場所			現場外搬出量		再生資源利用促進量 (注2)		
		用途 コード*10	利用量 *11	減量法 コード*11	減量化量	3ヶ所まで記入できます。4ヶ所以上にわたる時は、用紙を換えて下さい。			区分 どちらかに 付けて下さい			施工条件の 内容 コード*12			搬出先の 種類 コード*13	
特定建設資材 コンクリート塊	トン	トン	トン	トン	搬出先1 搬出先2 搬出先3	公共 公共 公共	民間 民間 民間	km km km	km km km	km km km	トン トン トン	トン トン トン	トン	%		
建設発生木材 (木材が廃棄物 になったもの)	トン	トン	トン	トン	搬出先1 搬出先2 搬出先3	公共 公共 公共	民間 民間 民間	km km km	km km km	km km km	トン トン トン	トン トン トン	トン	%		
廃棄物 アスファルト コンクリート塊	トン	トン	トン	トン	搬出先1 搬出先2 搬出先3	公共 公共 公共	民間 民間 民間	km km km	km km km	km km km	トン トン トン	トン トン トン	トン	%		
建設発生木材 (伐木材、除根 材など)	トン	トン	トン	トン	搬出先1 搬出先2 搬出先3	公共 公共 公共	民間 民間 民間	km km km	km km km	km km km	トン トン トン	トン トン トン	トン	%		
建設汚泥	トン	トン	トン	トン	搬出先1 搬出先2 搬出先3	公共 公共 公共	民間 民間 民間	km km km	km km km	km km km	トン トン トン	トン トン トン	トン	%		
建設混合廃棄物	トン	トン	トン	トン	搬出先1 搬出先2 搬出先3	公共 公共 公共	民間 民間 民間	km km km	km km km	km km km	トン トン トン	トン トン トン	トン	%		
建設 金属くず	トン	トン	トン	トン	搬出先1 搬出先2 搬出先3	公共 公共 公共	民間 民間 民間	km km km	km km km	km km km	トン トン トン	トン トン トン	トン	%		
廃棄物 廃プラスチック	トン	トン	トン	トン	搬出先1 搬出先2 搬出先3	公共 公共 公共	民間 民間 民間	km km km	km km km	km km km	トン トン トン	トン トン トン	トン	%		
紙くず	トン	トン	トン	トン	搬出先1 搬出先2 搬出先3	公共 公共 公共	民間 民間 民間	km km km	km km km	km km km	トン トン トン	トン トン トン	トン	%		
ファス (飛散性)	トン	トン	トン	トン	搬出先1 搬出先2 搬出先3	公共 公共 公共	民間 民間 民間	km km km	km km km	km km km	トン トン トン	トン トン トン	トン	%		
その他の分別さ れた廃棄物	トン	トン	トン	トン	搬出先1 搬出先2 搬出先3	公共 公共 公共	民間 民間 民間	km km km	km km km	km km km	トン トン トン	トン トン トン	トン	%		
建設発生土 第一種	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	搬出先1 搬出先2 搬出先3	公共 公共 公共	民間 民間 民間	km km km	km km km	km km km	地山m ³ 地山m ³ 地山m ³	地山m ³ 地山m ³ 地山m ³	地山m ³	%		
建設発生土 第二種	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	搬出先1 搬出先2 搬出先3	公共 公共 公共	民間 民間 民間	km km km	km km km	km km km	地山m ³ 地山m ³ 地山m ³	地山m ³ 地山m ³ 地山m ³	地山m ³	%		
建設発生土 第三種	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	搬出先1 搬出先2 搬出先3	公共 公共 公共	民間 民間 民間	km km km	km km km	km km km	地山m ³ 地山m ³ 地山m ³	地山m ³ 地山m ³ 地山m ³	地山m ³	%		
建設発生土 第四種	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	搬出先1 搬出先2 搬出先3	公共 公共 公共	民間 民間 民間	km km km	km km km	km km km	地山m ³ 地山m ³ 地山m ³	地山m ³ 地山m ³ 地山m ³	地山m ³	%		
浚渫土	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	搬出先1 搬出先2 搬出先3	公共 公共 公共	民間 民間 民間	km km km	km km km	km km km	地山m ³ 地山m ³ 地山m ³	地山m ³ 地山m ³ 地山m ³	地山m ³	%		
合計	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³							地山m ³	地山m ³	地山m ³	%		

コード*10
1.路盤材 2.裏込材
3.埋戻し材 4.その他(具体的に記入)

コード*11
1.焼却 2.脱水
3.天日乾燥 4.その他(具体的に記入)

コード*12
施工条件について
1.A指定処分
(発注時に指定されたもの)
2.B指定処分(もしくは準指定処分)
(発注時には指定されていないが、発注後に設計変更し指定処分とされたもの)
3.自由処分

コード*13(詳細は「表-4」参照のこと)
再生資源利用促進
(再生利用された場合)
1.他の工事現場(内陸:公共、民間を含む)
2.再資源化施設(土質改良プラントを含む)
3.有償売却(工事議決会が建設副産物を売却し、代金を得た場合)
4.建設発生土ストックヤード(再利用工事が決まっている場合)
5.海面埋立事業(沿岸、海浜事業含む)

最終処分場・その他
(処分された場合)
6.最終処分場(海面処分場)
7.最終処分場(内陸処分場)
8.建設発生土ストックヤード(再利用工事未定)
9.焼却施設・最終処分場へ持ち込むための中間処理施設
10.その他(具体的に記入)

注2.再生資源利用促進量について
現場外搬出量のうち、搬出先の種類(コード*13)が1.-5.の合計

様式2 再生資源利用促進計画書(実施書) - 建設副産物搬出工事用 -

文言修正

1. 工事概要 表面(様式1)に必ずご記入下さい

名称変更

注釈が重複したため削除

建築工事において、解体と新築工事を一体的に施工する場合は、解体分と新築分の数量を区分し、それぞれ別に様式を作成して下さい。

裏面

2. 建設副産物搬出計画(実施)

現場内利用の欄には、発生量のうち、現場内で利用したのものについて御記入ください

コード*14(コード*13で「7.内陸処分場」を選択した場合のみ記入)

1.山砂利等採取跡地 2.処分場の覆土 3.池沼等の水面理立 4.谷地理立 5.農地受入 6.その他

建設副産物の種類	発生量 (掘削等) = + +	現場内利用・減量				現場外搬出について										再生資源利用 促進率 (%)	
		現場内利用		減量化		搬出先名称			搬出先場所	住所コード *4	運搬距離 千メートル *5	搬出先の種類 コード*13	受入地の用途 コード*14	現場外搬出量			再生資源 利用促進量 (注2)
		用途 コード*10	利用量	減量法 コード*11	減量化量	3ヶ所まで記入できます。4ヶ所以上に わたる時は、用紙を換えて下さい。	区分 どちらかに を付けて下さい	施工条件の 内容 コード*12						うち現場内 改良分	再生資源 利用促進量 (注2)		
特定建設副産物	コンクリート塊		トン	トン		搬出先1	公共	民間			km			トン	トン		
建設発生木材 (木材が廃棄物 になったもの)	トン		トン	トン	トン	搬出先1	公共	民間			km			トン	トン	トン	%
						搬出先2	公共	民間			km			トン	トン		
						搬出先3	公共	民間			km			トン	トン	トン	%
建設発生木材 (伐木材、除根材 など)	トン		トン	トン	トン	搬出先1	公共	民間			km			トン	トン	トン	%
						搬出先2	公共	民間			km			トン	トン		
						搬出先3	公共	民間			km			トン	トン	トン	%
建設汚泥	トン		トン	トン	トン	搬出先1	公共	民間			km			トン	トン	トン	%
						搬出先2	公共	民間			km			トン	トン		
						搬出先3	公共	民間			km			トン	トン	トン	%
建設混合廃棄物	トン		トン	トン	トン	搬出先1	公共	民間			km			トン	トン	トン	%
						搬出先2	公共	民間			km			トン	トン		
						搬出先3	公共	民間			km			トン	トン	トン	%
建設廃棄物	トン		トン	トン	トン	搬出先1	公共	民間			km			トン	トン	トン	%
						搬出先2	公共	民間			km			トン	トン		
						搬出先3	公共	民間			km			トン	トン	トン	%
金属くず	トン		トン	トン	トン	搬出先1	公共	民間			km			トン	トン	トン	%
						搬出先2	公共	民間			km			トン	トン		
						搬出先3	公共	民間			km			トン	トン	トン	%
廃プラスチック	トン		トン	トン	トン	搬出先1	公共	民間			km			トン	トン	トン	%
						搬出先2	公共	民間			km			トン	トン		
						搬出先3	公共	民間			km			トン	トン	トン	%
紙くず	トン		トン	トン	トン	搬出先1	公共	民間			km			トン	トン	トン	%
						搬出先2	公共	民間			km			トン	トン		
						搬出先3	公共	民間			km			トン	トン	トン	%
アスベスト (飛散性)	トン		トン	トン	トン	搬出先1	公共	民間			km			トン	トン	トン	%
						搬出先2	公共	民間			km			トン	トン		
						搬出先3	公共	民間			km			トン	トン	トン	%
その他の分別さ れた廃棄物	トン		トン	トン	トン	搬出先1	公共	民間			km			トン	トン	トン	%
						搬出先2	公共	民間			km			トン	トン		
						搬出先3	公共	民間			km			トン	トン	トン	%
建設発生土	第一種	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	搬出先1	公共	民間			km			地山m ³	地山m ³	地山m ³	%
	第二種	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	搬出先1	公共	民間			km			地山m ³	地山m ³	地山m ³	%
	第三種	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	搬出先1	公共	民間			km			地山m ³	地山m ³	地山m ³	%
	第四種	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	搬出先1	公共	民間			km			地山m ³	地山m ³	地山m ³	%
浚渫土	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	搬出先1	公共	民間			km			地山m ³	地山m ³	地山m ³	%
	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	搬出先2	公共	民間			km			地山m ³	地山m ³	地山m ³	%
	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	搬出先3	公共	民間			km			地山m ³	地山m ³	地山m ³	%
合計	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%

コード*10
1.路盤材
2.裏込材
3.埋戻し材
4.その他(具体的に記入)

コード*11
1.焼却
2.脱水
3.天日乾燥
4.その他(具体的に記入)

コード*12
施工条件について
1.A指定処分
(発注時に指定されたもの)
(発注時には指定されていないが、
発注後に設計変更し指定処分とされたもの)
2.B指定処分(もしくは準指定処分)
(発注時には指定されていないが、
発注後に設計変更し指定処分とされたもの)
3.自由処分

コード*13(詳細は「表-4」参照のこと)
再生資源利用促進
(再生利用された場合)
1.他の工事現場(内陸:公共、民間を含む)
2.再資源化施設(土質改良プラントを含む)
3.有償売却(工事請負会社が建設副産物を売却し、
代金を得た場合)
4.建設発生土ストックヤード(再利用工事が決まっている
場合)
5.海面埋立事業(海岸、海浜事業含む)

最終処分場・その他
(処分された場合)
6.最終処分場(海面処分場)
7.再資源化施設(内陸処分場)
8.建設発生土ストックヤード(再利用工事未定)
9.焼却施設・最終処分場へ持ち込むための中間
処理施設
10.その他(具体的に記入)

注2再生資源利用促進量について
現場外搬出量のうち、搬出先の種類
(コード*13)が1.-5.の合計

カ所目から
搬出先に名称変
更

建設発生木材の細区分

記入桁の削除

その他(上記以外の廃棄物)の追加

泥土から名称変更

様式2 再生資源利用促進計画書(実施書) - 建設副産物搬出工事用 -

記入例

1. 工事概要 表面(様式1)に必ずご記入下さい

計画書もしくは実施書に をつける

建築工事において、解体と新築工事を一体的に施工する場合は、解体分と新築分の数量を区分し、それぞれ別に様式を作成して下さい。

裏面

2. 建設副産物搬出計画(実施) **単位に注意**

現場内利用の欄には、発生量(掘削等)のうち、現場内で利用したものについて御記入ください。

コード*14(コード*13で「7.内陸処分場」を選択した場合のみ記入)

1.山砂利等採取跡地 2.処分場の覆土 3.池沼等の水面埋立 4.谷地埋立 5.農地受入 6.その他

建設副産物の種類	発生量 (掘削等) = + +	現場内利用・減量		現場外搬出について										再生資源利用 促進率 + + + + + (%)			
		用途 コード*10	利用量 うち現場内改良分	減量法 コード*11	減量化量	搬出先名称 3ヶ所まで記入できます。4ヶ所以上にわたる時は、用紙を換えて下さい。	区分 どちらかにを付けて下さい	施工条件の 内容 コード*12	搬出先場所	住所コード *4	距離 千メートル	搬出先の種類 コード*13	受入地の用途 コード*14		現場外搬出量	うち現場内改良分	再生資源 利用促進量 (注2)
特定建設副産物	コンクリート塊	100	1	30		搬出先1 リサイクル(株) 工場 公共(民間)	1	福井市	1 8 2 0 1	1.0	km	2	7 0		70	100	
	建設発生木材 (木材が廃棄物になったもの)	10				搬出先1 (株)チップ化工場 公共(民間)	1	鯖江市	1 8 2 0 6	1.5	km	2	8		8	80	
	アスファルト・コンクリート塊	300				搬出先1 道路(株) 工場 公共(民間)	1	鯖江市	1 8 2 0 6	1.5	km	2	3 0 0		300	100	
建設副産物	建設発生木材 (伐木材、除根材など)	10				搬出先1 (株)チップ化工場 公共(民間)	1	福井市	1 8 2 0 1	1.5	km	2	8		8	80	
	建設汚泥	800		3	50	搬出先1 (株)搬出先が複数箇所の場合に2ヶ所目、3ヶ所目を記入する場合は新しい用紙に続きを記す	2	大野市	1 8 2 0 5	4.0	km	2	2 6 0		260	33	
	建設混合廃棄物	30				搬出先1 リサイクルセンター 公共(民間)	2	大野市	1 8 2 0 5	1.5	km	2	3 0		30	100	
	金属(ず)	10				搬出先1 金属(株) 公共(民間)	3	勝山市	1 8 2 0 6	5.0	km	3	1 0		10	100	
	廃プラスチック	2				搬出先1 リサイクルセンター 公共(民間)	2	勝山市	1 8 2 0 6	1.5	km	2	2		2	100	
	紙(ず)	1		1	1	搬出先1 公共(民間)									0	100	
	アスベスト (飛散性)	1				搬出先1 処分場 公共(民間)	3	春見入	1 8 3 6 5	1.0	km	7		1		0	0
	その他の分別された廃棄物	1				搬出先1 処分場 公共(民間)	3	大野市	1 8 2 0 5	1.0	km	7		1		0	0
	建設発生土	第一種建設発生土	2000				搬出先1 工事 公共(民間)	1	福井市 地先	1 8 2 0 1	5.0	km	1	1 2 0 0	地山 ³	2000	100
		第二種建設発生土					搬出先2 ストックヤード 公共(民間)	2	福井市 地先	1 8 2 0 1	8.0	km	4	8 0 0	地山 ³		
第三種建設発生土		1700	3	700		搬出先1 工事 公共(民間)	1	鯖江市 地先	1 8 2 0 7	1.0	km	1	6 0 0	地山 ³	600	76	
第四種建設発生土						搬出先2 処分場 公共(民間)	3	鯖江市 地先	1 8 2 0 7	2.0	km	7	4 0 0	地山 ³			
浚渫土						搬出先3 公共(民間)								地山 ³			
合計		3700		700									3 0 0 0	地山 ³	2600	89	

コード*10
1.路盤材 2.裏込材
3.埋戻し材 4.その他(具体的に記入)

コード*11
1.焼却 2.脱水
3.天日乾燥 4.その他(具体的に記入)

コード*12
施工条件について
1.A指定処分(発注時に指定されたもの)
2.B指定処分(もしくは準指定処分)(発注時には指定されていないが、発注後に設計変更し指定処分とされたもの)
3.自由処分

コード*13(詳細は「表-4.参照のこと」)
再生資源利用促進(再生利用された場合)
1.他の工事現場(内陸:公共、民間を含む)
2.再資源化施設(土質改良プラントを含む)
3.有償売却(工事請負会社が建設副産物を売却し、代金を得た場合)
4.建設発生土ストックヤード(再利用工事が決まっている場合)
5.海面埋立事業(海岸、海浜事業含む)

最終処分場・その他(処分された場合)
6.最終処分場(海面処分場)
7.最終処分場(内陸処分場)
8.建設発生土ストックヤード(再利用工事未定)
9.焼却施設・最終処分場へ持ち込むための中間処理施設
10.その他(具体的に記入)

注2:再生資源利用促進量について
現場外搬出量のうち、搬出先の種類(コード*13)が1~5の合計